

ささら踊りの歌

御門の脇の権桜 黄金の花も咲いたとさ  
お寺の茄子もなつたとさ 一本で八百なつたとさ  
廻れ廻れ廻れ来て

一、獅子の子は 生まれて落ちると頭振る  
子供衆は揃って 尻を振り候 尻を振り候  
ザックザック ザクザック エンヤ  
ザックザック ザクザック ヒヤウロレトレロ

二、大天王の 四本の柱は 白金で  
中は黄金で 光かがやく 光かがやく

三、ささらおば 良くも悪くも おほめやれ  
今年初めて習いで候 習いで候

四、つばくろが 土をくわえて かねつけて  
前のお庭で羽根を休める 羽根を休める

五、あの山でケンケンホロリと鳴く鳥は  
元の殿御の籠の飼い鳥 籠の飼い鳥

六、白鷺が 海の面に 巢をかけて  
波にゆられて パツとたち候 パツとたち候

七、あの町に 馬乗りけいこが ござるそうな  
夜も夜中も駒の足音 駒の足音

八、子供衆の かけたるたすきに 花が咲く  
花も散らさで遊べボコ達 遊べボコ達

九、あの山に 雨が降りそうで 雲がたつ  
エイジャヤ ボコ達花の都へ 花の都へ